
公衆衛生看護活動論 I

岩村 龍子 教授
岡本 光代 准教授
辻本 宏美 助教

2 年次前期・必修

2 単位・60 時間

【概要・目的】

地域で生活する人々のライフステージや健康課題別に、保健福祉施策をもとに展開する公衆衛生看護活動の方法および公衆衛生看護管理の考え方を学び、保健師の役割について理解する。

【到達目標】

- 1) ライフステージ別、健康課題別の公衆衛生看護活動の方法とその根拠となる法令や施策を説明する。
 - 2) 公衆衛生看護管理の基本、および自然災害や感染症における健康危機管理活動を概説する。
 - 3) 住民のヘルスニーズへの対応のために、対象とするコミュニティや関係機関と協働し既存の制度や社会資源を適用・組織化するとともに、不足があれば新たな制度を創造する公衆衛生看護の役割を考察する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) ～ 3) 公衆衛生看護の展開方法とその特徴
(1) 個を対象とした看護 (2) 集団・グループを対象とした看護 (3) 地域づくり活動
 - 4) ～ 7) 母子保健福祉活動
 - 8) ～ 11) 成人・高齢者保健福祉活動
 - 12) ～ 13) 障害児者保健福祉活動
 - 14) ～ 15) 精神保健福祉活動
 - 16) ～ 17) 難病保健福祉活動
 - 18) ～ 20) 感染症保健福祉活動
 - 21) ～ 22) へき地・都市部における公衆衛生看護活動
 - 23) ～ 26) 公衆衛生看護管理・健康危機管理
 - 27) ～ 28) 地域ケア体制づくり
 - 29) 事業化・施策化
 - 30) 公衆衛生看護活動の現状と課題
-

【評価】

筆記試験（90%）、出席状況および授業への参加態度など（10%）により評価する。ただし、筆記試験は6割以上の得点を必要とする。

【教科書】

宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学総論第3版」日本看護協会出版会
宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学各論1第3版」日本看護協会出版会
宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学各論2第3版」日本看護協会出版会

【推薦参考図書】

適宜紹介する。

【その他】・事前に教科書の該当ページを読んで履修すること。